

六甲高山植物園 絶滅が危惧される貴重な花 「ヒゴタイ」8月下旬まで見頃です！

六甲山観光株式会社(本社:神戸市灘区 社長:寺西公彦)が六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、絶滅危惧種の「ヒゴタイ」が開花しました。

「ヒゴタイ」はキク科の多年草で、鮮やかなブルーと、てまり型の花が特徴です。草原のお花畑のエリアで、黄色のオミナエシと一緒に咲く様子は秋の到来を感じさせます。爽やかな風に揺れる姿は涼しげで、夏の暑さを忘れさせてくれます。



■ヒゴタイ(キク科)

やや乾いた草原に生える高さ1mほどの多年草です。かつてはよく見られた花ですが、生育場所である草地の減少により現在では数が減っています。九州でややまれに見られ、本州ではほとんど見られず、環境省のレッドデータブックでは、絶滅危惧Ⅱ類(VU)に分類されています。トゲのようなものは一つ一つが小さな花で、たくさんの花が集まって一つの球体を作っています。現在、園内に咲く「ヒゴタイ」は見頃を迎えており、8月下旬頃までお楽しみいただける見込みです。

◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園 TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137

住所:〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】開園中～11月24日(日)

【開園時間】10:00～17:00(16:30受付終了)

【入園料】大人(中学生以上)900円/小人(4歳～小学生)450円

【駐車場】1,000円(8月10日(土)～15日(木)):2,000円

六甲高山植物園 <https://www.rokkosan.com/hana/>